

第3回 地域交流促進検討部会 議事録

日 時	平成13年1月25日(木) 13:30~15:30
場 所	メルパルク NIIGATA 5F スカイドームホール
出席者	検討部会員およびメーリングリスト会員 計18名
部会配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事内容のレジュメ ・新潟 ITS の活動計画(H13~15)について(素案) ・2002 年ワールド カップ サッカー対応部会活動計画書(案) ・ITS 推進会議 公共交通・物流情報化検討部会 活動計画案 ・積雪地型 ITS 研究部会の今後の方針 ・部会の今後の取り組みについて(案) ・W 杯プレ大会開催の記事(新潟日報)
議 事 内 容	
<p>開会 挨拶(座長) 新潟ソフトウェアセンター 代表取締役専務 鈴木 四郎</p> <p>4 部会長 会議の報告 事務局</p> <p>1.他部会の取り組み状況について説明</p> <p>[ワールドカップサッカー対応部会]</p> <p>今年 5 月末から 6 月初めに、2002 年サッカー・ワールドカップのプレ大会が新潟で行われる。それに合わせて実証実験を行う予定。2002 年に向けては県内、例えば道路建設課、道路維持課、都市計画課、情報政策課等と一緒に対応を検討している。その他新潟市とも連携を取りながら計画を進めている。実験事業のイメージとしては、公共交通情報やワールドカップ関連の各種お知らせ、交通規制情報、駐車情報等の情報をインターネットや CATV 等を使い発信をしていくというものである。現段階では予算等の面でまだ本格的な動きにはなっていないが、とりあえず今年のプレ大会に向けて実証実験を準備していく予定。</p> <p>[公共交通・物流情報化検討部会]</p> <p>2 ページ目に日経新聞に載った ITS 実証実験の記事があるが、2001 年に新潟 - 長岡間の高速バスと新潟市中心部の路線バスで実験を行う予定である。また、部会としては 22 日(月)に第 2 回目の部会が開かれ、講演とともにこれからどのように進めていくか検討をしたと思われる。具体的な内容についてはこれからという感じである。</p> <p>[積雪地型 ITS 研究部会]</p> <p>具体的に何をするか等については、これから決めていく予定。道路情報の提供についてはいろんな官庁からブレーキがかかっているの、ITS 推進会議の名前を借りて、例えば警察としてはだめだが、ITS 推進会議として出すなら大丈夫というような形で、解決の糸口を見つけていきたい。</p> <p>2.当面の課題及び調整内容等についての説明</p> <p>4 部会の中で、ワールドカップのプレ大会が 5 月末に行われるので、ワールドカップサッカー対応部会としても何らかの情報提供をやっていく必要があるが、ワールドカップサッカー大会の準備組織では情報提供についてはあまり考えていないみたいなので、この ITS 推進会議でその部分はやっていきたいと県の事務局の方では考えている。そこで、情報提供の部分を地域交流促進部会で担当してもらえないかという話があった。</p> <p>部会の今後の取り組みについて</p> <p>1.今後の部会の取り組みについて(案)を説明 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はポータルサイトの開発やコンテンツの作成等について、予算的な面と、どういう形で今後運営していくのか、誰が作るのか等についてお話をしていきたい。今日お伺いした皆様の意見を踏まえて県と再度調整していきたい。 	

2.意見交換及び質疑応答

- ・まず、3部会で調整されたということだが、他の部会はあまり動きがなく、この部会でどこまでやるかという、今のお話のままでいくと、ワールドカップサッカー対応部会の内容をうちの部会でやるような形になるのではないか。
- ・そういう面では言い方が悪かったかもしれないが、ワールドカップサッカーでの情報交流に関する部分、それがポータルサイトというか情報の仕組みであり、それを使って情報を提供していきたい、その部分が本来、地域交流部会の一環の役割だろうということである。(事務局 佐藤)
- ・情報交流とは具体的には何か。
- ・具体的にはポータルサイトである。(事務局 佐藤)
- ・ポータルサイトとはインターネットのホームページだけか。
- ・インターネット、ホームページ、CATV、DVD、携帯等で、最終的には本大会にはそういうものを使ってやりたい。しかし当面5月に向けてはそこまでやれるわけではないので、ポイントだけやるような形になるだろう。(事務局 佐藤)
- ・ブレ大会は5月31日と6月の2日にやるということだが...
- ・ちょうど一年前なので、いきなり本番ということではなく、こういうことがやれば効果があるということをやっていきたい。一番大事なのは、情報交流をどうするかということだと思う。その部分、情報交流の仕組み作りの部分を、県の方からこの部会でやって欲しいということを言われている。(事務局 佐藤)
- ・実際にやるのはワールドカップサッカー対応部会でやるのか。情報は交流部会で持って、案内とかはワールドカップサッカー対応部会で、という感じになるのか。
- ・正確には細かい振り分けはこれからで、まだどういう問題が出てくるかは分からないが、私もはあくまでも仕組みを作るという部分になると思う。1つは中身のコンテンツについてはワールドカップサッカー対応部会と意見調整しなければいけないと思う。我々は仕組みを作るという立場からいろいろ調整していければと思う。(事務局 佐藤)
- ・その場合、もう少しどういことを調整しなければいけないかというところを詰めてからやった方がいいのではないか。
- ・今の調整ということは、ポータルサイトを誰が作るかということだが、地域交流部会で作らなければワールドカップサッカー対応部会で作るということになるが、ITSの情報交流の仕組みを作るという我々部会の第一の目的にもあるので、そこで作ったものを間に合えば実証実験用のポータルサイトとして使うということだと思う。(事務局 佐藤)
- ・メディアに対する情報提供はどうするかというところを詰めた方がいいと思うが。
- ・そういう面での問題点はいろいろあると思う。(事務局 佐藤)
- ・今でのご説明でワールドカップサッカーに重きを置くのは分かるが、地域、上、中、下越の連携がはっきりしていないので今のような質問が出てくると思う。具体的なイメージがない感じである。また、ワールドカップサッカー終了後どうするのか、以前長野オリンピックがあった時も終わった後は結局何もされなかったで、その時の反省も含めて、ワールドカップだけではなく先を考えた計画を立てていく必要があるのではないか。ワールドカップをあまり表に出しすぎると新潟市だけが中心となるイメージなので、一言言わせてもらった。
- ・ワールドカップを利用してポータルサイトを作るが、英語だけではなく、韓国語や中国語など、いろんな国の方々が来るのでいろんな国の言語に翻訳して、ワールドカップが終わった後も各国で見れるものとなれば、新潟を売り込むことができるだろう。
- ・バスや鉄道とか、各々の部会でいろいろと検討していると思うが、時間的、技術的には可能だが、地域の交流とはどうあるべきかということをもう少し詰めてからホームページとして出した方が分かりやすいと思う。その辺の議論がないとだめだと思う。
- ・各企業も含めて同じような情報を発信されていると思うので、各機関、企業間でもコミュニケーションを取って、重ならないように集約されるようにすればいいと思う。もう1つ、発信するだけではなく参加できる形にして、双方向でやりとりができるようにすることも重要だと思われる。このワールドカップがきっかけであり、本来の大きな目的、将来的なものを見越して発展的なものを作っていく方がいいと思う。
- ・事務局に聞きたいが、今回話をしているポータルサイトがワールドカップのオフィシャルサイトになると考えていいのか。

- ・その辺がまだ分からないところである。(事務局 佐藤)
- ・うちらが先に作り、あちらが後で作ると問題なのではないか。基本的なことだと思うのではっきりさせておいた方がいいと思う。作られるにしても、今あるホームページの下に作られると思うが、アドレスの問題なども出てくると思う。それから、どうせ作るのであれば、情報を受ける部分、新潟県内だけではなく各地の情報を受けて見ることができるようなものが必要だと思う。
- ・そういう面では、地域間交流の観点でたまたまワールドカップ大会もあるよというような位置付けだと思う。ワールドカップをベースにしたような物とは若干意味合いが違ってくると思う。ただ、他がどういった形でやるのか良く見えないので、分からないところではある。私どもとしては、県の調整、特に庁内の他の部署等の調整の状況を見ながら進めていきたいと思う。(事務局 佐藤)
- ・部会としてワールドカップサッカー対応部会があるのに、なぜやるのかと思っていた。もう少し違う意味でこの部会を捉えていたが、説明をいただいて一定の理解を得た。とにかく発展形として、1つのきっかけとしてのプレ大会、本大会に関わるのはいいいが、終わった時点でまた一から始まるようなことがない形で考えるべきだと思う。
- ・5月20日までのホームページ完成ということについてだけ意見を述べればいいと認識しているが、事務局のお考えでは、コンテンツの中身を決めて、その中身によって外注するかどうかということを考えるということなのか。
- ・実際の工事の部分はどういう風にするかということは、予算の大部分は県なので、県の意向を尊重しながら、このような公のものなので考えていきたい。物作りの部分は、一拍置いてから進める形になるだろう。(事務局 佐藤)
- ・コンテンツについては、イメージ図にもあるものがベースになると思うが、ここからある程度絞り込みをしたいということなのか。
- ・今回はあくまで実証実験であって、本大会までに実験をしてどの程度の効果が出るかということだと思う。(事務局 佐藤)
- ・例えば1つに絞るということであれば、会場へのアクセス情報、あるいはシャトルバスの運行情報等の競技場へのアクセスに関する情報提供が一番先にくると思う。
- ・いただいたスケジュールやワールドカップサッカー対応部会の資料を見ると、大型ディスプレイなどを置くを書いてあるが、ワールドカップが終わった後にまたいろんな情報を提供することをイメージすると、コンテンツの充実を考えていく必要があると思う。ワールドカップサッカー対応部会でどのように考えるか、うちがどこまでやるのかははっきりした方がいいと思う。当部会の発展的な目標に対して入れていくのがいいと思う。2点目としては、宿泊や観光情報は民間でも出している情報があるので、どういう風にそれらを取りまとめるかというところが大事になってくると思う。また、コンテンツ等を集める仕組みがあると、充実すると思う。
- ・新潟県のITSを推進する上で、今回のワールドカップ大会を利用するのはいいと思うが、ワールドカップサッカー対応部会とのすみ分けが見えない状態である。明確にするためには、具体的な内容をピックアップして役割分担をしないといけないと思う。実証実験まであと4ヶ月以内である。費用とか部会間の調整をやるとなると時間がないと思う。ワールドカップサッカー対応部会との間で、何をやるかははっきりさせないと心配である。また、次年度以降、デマンドバスの運用等をやるとしても、公共交通の部会がやるので、その辺も考えていかないとだめだと思う。
- ・県の事務局とワールドカップサッカー対応部会の事務局は同一であるので、話は早いと思う。また、やはりデマンドバスは公共交通部会がやる。うちの部会は範囲がぼやっとしているが、逆に言えば何でもできると言える。(事務局 佐藤)
- ・先回の部会で、この部会は情報交流のポータルサイトを作ることを第一の目的として挙げたが、ワールドカップは実証実験としてはチャンスだと思うが、この部会の目的を外さず継続的にやる方向で考えていくべきだと思う。
- ・今回やる実証実験もワールドカップのためだけではなく、この部会本来の目的のための実験にもなり得ればいいと思う。(事務局 佐藤)
- ・ワールドカップサッカー対応部会にも属しているので出席したが、ポータルサイトを作るという動きがあった。一番懸念だったのが、情報の基盤を作ることだったが、その部分をこの部会でしっかり作っていただければと思った。新潟で、企業が入らず、新潟の共通の基盤となるサイトができればいいと思う。やはりコンテンツが重要となるが、コンテンツのメンテナンスがされていかないといけないと思う。メンテナンスをしていく仕組みができたならば、ワールド

- カップが終わったとしても、引き続き世界に向けての情報発信ができるのではないかと思います。
- ・ プレ大会をきっかけとして取ることは非常に良いことだと思うが、地域交流部会としての全体枠を決めないといけないと思う。ワールドカップが頭にあると、ワールドカップのためだけになってしまうので、ワールドカップは良い機会という意味にだけ捉えて、全体枠の確定の方を先にやらないといけないのではと思う。
 - ・ 今までの意見の集約をしていただいた。(事務局 佐藤)
 - ・ ワールドカップのみと考えずに、長い間コンテンツとして残るものを構築する必要があるのではないかと思います。プレ大会で情報の交流を図るという意味では、日本の他の地域でもやるので、他で開催される地域との交流も考えられるのではないかと。
 - ・ この部会は情報交流をどうするかであって、情報交流を念頭に置いてやらないといけないのではないかと。ポータルサイトの構築については、地域の産業振興に結びつくものと考えていきたい。ワールドカップは通過点である。部会としての中長期のビジョンを明確にして取り組んでいくべきである。それから、ポータルサイトを大勢の人で作ると心配がある。ポータルサイトをリンク集として作ればいいのか、そうするとリンク集のお化けで終わってしまっているといけないと思う。すっきりさせるには、情報の選択、大胆な整備が必要である。階層が深くなるのは避けるべきである。見せ方としては、他国語対応、やわらかいイメージで、お年寄りや小学生の生徒のアクセスも考えると漢字のレベルや文字の大きさ、音声ガイドの必要性などが考えられる。知恵を出しあってやる必要があると思う。
 - ・ 確かに中長期ビジョンを明確にすることは大事だと思う。(事務局 佐藤)
 - ・ 部会の本来の目的としての地域情報交流を立ち上げる上でのトリガーとして、ワールドカップはいいきっかけになると思う。しかし、やはりワールドカップ後を見据えた上でどうしていくべきかを検討するべきである。その中で一番大事なのは仕組み作りであって、コンテンツの中身、コンテンツが変わっていかないと情報交流にはならないので、双方向での情報交流を行う上でも仕組み作りが大事だと思う。
 - ・ 単なる仕組みではなく、安定感のあるものとして、情報の発信と受信がタイムリーにできる仕組みを作らなければいけないと思うし、そのためにはもう少し皆さんと時間をかけて議論しなければいけないと思う。(事務局 佐藤)
 - ・ 地域交流部会としてかなり広範囲な分野だと思うが、その中で1つのきっかけとして、ワールドカップをいい機会だと捉えてこういったサイトを作ることは良いことだと思う。なかなか費用の面や他の部分で制約があると思うが、とにかくやってみる、将来的な部分をきちんと見るということもあるが、とりえず第一歩を踏み出した中でまた考えていけばいいと思う。確かに5月までで期間的にもきつく、どこまでできるか分からないということもあるが、1つか2つやってみる中で、充実していけばいいと思う。
 - ・ ワールドカップを1つのきっかけとして、あくまで実験として捉えてはどうかという意見だった。一番出てきた問題として、地域交流ビジョンについてもう少し意見を出し合い、もんでいくべきだという意見が多かった。ワールドカップを横に置いて、地域交流ビジョンというものをどういう枠組みで我々の部会は取り組めばいいのかが1つのポイントになってくると思う。本来我々の部会は、地域内、中山間地や地域外との交流を促進する上での仕組みをどうすればいいの、ということを検討することが目的である。ワールドカップを離れるが、こういうことを考えていかなければいけないのではというようなご意見はあるか。(事務局 佐藤)
 - ・ 今は勉強している最中なのでまだ何とも言えない。青年会議所の中にあるITS関連の部会も、あと2回やっていると決まってくる。
 - ・ 今後、そちらの部会での意見があればぜひ出して欲しい。(事務局 佐藤)
 - ・ なぜ地域交流部会がワールドカップの仕事をやらないといけないのかという意見が出たが、全く同感である。私は新潟県高度情報化推進協議会の事務局長もやっているが、地域交流部会はITSだけの交流会に留まらず、高度情報化推進協議会の幅広い分野の情報交流について考えていけるのではと思っている。今日は非常に有意義なお話をいただいて感謝である。(座長 鈴木)
 - ・ 交流をどうするかということが、双方向でコミュニケーションを図るということであり、発信する側受信する側それぞれの、これからのIT時代を踏まえてこうあるべきだというガイドラインが出来上がり、それにのっとった形での情報受発信がベースになってくるというのが私の考えである。ガイドラインがうまく整備されればポータルサイトも機能するのではないかと。ポータルサイトも最初の1ヶ月は力を入れるが、後はだんだん冷えてくるものだ。そのために従来型の仕組みではなく、仕組みの中に今までなかったソフトウェアの仕組み、新しいものを入れていけばいいと思う。また、ここまでは責任を持って情報発信できるというものを整理

しながら、発信させていく必要があると思う。(事務局 佐藤)

- ・ 以前、アンケートをまとめた結果は良くまとまっていると思うので、それをこの後の部会に反映させると良いと思う。またその中では、デマンドコントロール(交通規制)がおもしろいと思う。公共交通はバスロケーションシステムをやるので、交通の規制をやるのがおもしろいと思う。
- ・ デマンドコントロールも公共交通がやる予定である。(事務局 佐藤)
- ・ ソフトウェアの話ではなく、ハードの話、例えば高速通信回線を山間地に普及させるのが県の今後の仕事だと思うが、どこがやるのか。そういうことは予算をつけてやっていくべきだと思うが、この ITS 推進会議でバックアップをするのか。
- ・ 県の中の別のところでやっている。私どもの関わりは非常に深いので、こういう風にできるのでは等の提言はできると思う。(事務局 佐藤)
- ・ そういうことができるという前提でソフトを作っていけばいいということか。また、担当部署は情報政策課か。
- ・ 企画の方だと思う。県内の回線の整備を捉えている。(事務局 佐藤)
- ・ ワールドカップサッカー対応部会との役割分担は、ワールドカップサッカー対応部会の事務局と意見調整していきたい。私どもの部会で一番大切なのは、ビジョンという話も出てきたが、どうあるべきかというところを考えていかないといけないと思う。今ちょうど県の長期ビジョンを策定する時期なので、私どもの部会でできるものがあれば、地域交流部会として提言できれば良いと思う。ワールドカップと並行して、絶えず頭の中に入れながらやっていきたいので、今回のワールドカップについてはご了解願いたい。(事務局 佐藤)

休憩

今後の進め方、スケジュール等について

1.意見交換及び質疑応答

- ・ 5 月末から 6 月にあるブレ大会への実証実験に向けて、ワールドカップサッカー対応部会との役割分担について意見を聞きたい。また、実際に作る際の作り方、技術的な話しではなく、組織論的な作り方について意見を聞きたい。それらを県との調整の際の参考とさせていただく。我々の部会は、地域の情報交流の仕組みを考え、また、ワールドカップサッカー対応部会もワールドカップに対する ITS の推進を目的として情報発信、提供が 1 つのテーマになっている。それで共通の仕組みを作り上げていこうということで、仕組みは我々の部会で行うという明確な役割分担ができると思う。その辺でご意見を聞きたい。(事務局 佐藤)
- ・ 何について語ればいいのか難しい。
- ・ 役割分担的なところでの考え方、本来の地域交流部会でサイトを作る中で情報を発信するというのは分かる。役割分担のところ、コンテンツの部分でどちらの部会がこういった形で集めて、こういった形で集約するかという部分で、明確な役割分担をしないといけないと思う。
- ・ コンテンツあたりが一番の問題となるということだろう。(事務局 佐藤)
- ・ コンテンツを分けるとすると、ワールドカップサッカー関連の限定された情報と、地域交流の観光情報など、ワールドカップが終わった後も使えるものというように、どういう風なすみ分けをするか考える必要があるが、コンテンツを分けてやっていけば良いと思う。
- ・ 例えば、県は薬局の場所を地図情報と合わせて携帯等に提供できればというような話をしていた。サッカーに直接関係なければ地域交流部会で担当するということになるのか。(事務局 佐藤)
- ・ ホームページを作るときに頭がどういう名前なのか、例えば新潟県のような大きなものがありそれにぶら下がるのか、それともワールドカップ用のものがあり、その下にぶら下がるのか、その辺でやる仕事の切り分けが変わると思うので、なかなか考えがまとまらない。ワールドカップを念頭にするなら関連情報にしばった方が見やすいと思う。全体を地域交流にして、ワールドカップを 1 つのきっかけとするなら、県全体の中でワールドカップ関連の下になるのではないか。どちらの方向へ進むべきか進む方向が見えない。
- ・ 少なくとも当面の実験では、ワールドカップが頭になると思う。ワールドカップが終われば頭の切り替え、タイミングが必要になってくるが。(事務局 佐藤)
- ・ 時間があるかどうかだが、先程言われた意見の中でも地域交流部会としての全体的な枠、ビジョンみたいな話があったがその通りだと思う。また、この部会で必要なコンテンツを整理して、更にワールドカップサッカー対応部会で必要なコンテンツを整理して、それで全体としてすり

- 合わせてみて、コンテンツを絞り込み、かつ役割分担をしていくのがいいのではないかな。
- ・ 当部会としては地域交流に関する基本的なスタンスは、ワールドカップに関連する部分はワールドカップサッカー対応部会で考えていただき、我々はワールドカップに関連しないコンテンツを考えていく、大きくはその辺で分かれてしまうと思う。(事務局 佐藤)
 - ・ 積雪地型研究部会の議事録の中で、提供者側からの課題と利用者側からの課題の両方から取り組むとあり、それは良い事だと思ったが、どちらかというと提案者側の課題となり、本当にコンテンツが利用者側の立場に立ったものになっているのか、その辺の視点をどうするかということが問題になると思う。(座長 鈴木)
 - ・ トップページタイトルの重要ではないか。どういう風に情報源をやられていくのか、このイメージ通りにするならば、トップページやサブページがどういう風になるのかを決めることで方向性が決まってくると思う。また、リンクをどうするかなどについても最初に決めないといけないのではないかな。
 - ・ 各市町村の部分をどう統合していくのかも考えていく必要がある。できるところから手をつけて始めるのが良いと思う。
 - ・ ポータルサイトに新潟県のホームページがなり得る可能性があると思う。その中で、いや違うということになれば別のものを増やすことになると思う。個人的には県のホームページから入るのが良いと思う。
 - ・ どこまでやれるかということだが、コンテンツはなかなかつめるのが難しいと思うが、ハード的な部分では、まずインターネットの部分でのサイトの立ち上げをやってみてはどうか。また、情報源を整理するのは難しいと思うが、前回整理した中身を盛り込む形で、ワールドカップサッカー関連はワールドカップサッカー対応部会で、それ以外はうちでという形で分けてやってほしいと思う。県のホームページなど関連性を含めた中で、意見提議をしながら検討していくべきだと思う。
 - ・ 後半の1つ目の課題はこの辺にして、2つ目の課題として、これから5月末ぐらいまでに実験的に実証実験のプレサイトを作る予定だが、その作成の方法論について、公的な情報公開をしながら進めていきたいと思う。ある程度のやり方を決めてやらないと何も進まないと思う。ポータルサイトを作る上での進め方、例えばハードの部分やコンテンツの具体的なもの作りというような作る面での進め方について何か意見はあるか。(事務局 佐藤)
 - ・ コンテンツが一番だと思うので、全体でコンテンツにどんなものが必要か、例えば全体だと不動産や企業とか、それらをアットランダムに出して、その後ワールドカップに必要なものを決めていけばいいと思う。また、必要なものを分けて、それぞれワーキンググループに分かれて、それらをより具体的に検討していけばいいのではないかな。
 - ・ ワーキンググループを決めたら小グループに分かれて機能していけば早くできると思う。時間がないので、意欲のある数社で進めてもらいたいのではないかな。
 - ・ 全体の枠組みやある程度のものは部会でやり、あとは事務局で取捨選択してまとめてやるのがいいのではないかな。細かいところまで部会でやるというのは無理な気がする。この部会で意見を出しただけ出して、あとは事務局でまとめるのが早いと思う。また実証実験で作るまではいいと思うが、その後のメンテナンスを考えていかないといけないと思う。ワールドカップ終了後は作ったものを維持していくのか、全く作り直すのが大切な部分となってくると思う。
 - ・ ワールドカップサッカー対応部会の資料のイメージ図を見ると、情報源と書かれているのがワールドカップサッカー対応部会で考えているコンテンツの種類になっていると考えていいのかな。
 - ・ そう考えていい。(事務局 佐藤)
 - ・ そうすると、ワールドカップを開催するにあたり必要な情報と、必要なものがあるかどうかを部会やメールで意見をもらい、コンテンツをまとめればいいと思う。全体的な枠組みをこの中で議論するのは難しいので、事務局でメールとかで意見を集めて取捨選択されて、たたき台を作られて提案するのがいいのではないかな。その下の細かい部分は、機能性を持たせるために小さなグループでやると早いと思う。
 - ・ 情報源についてはこんなもので良いと思う。ワールドカップサッカー対応部会に何が一番重要か、それについてその発信の方法を作るという形でワールドカップサッカー対応部会の意向でコンテンツを絞ったほうが良いと思う。また、完璧な形ではなく、ある程度の段階で仕上がったものを使いまわして5月20日を目指すというやり方が良いと思う。5月20日の実証実験は一般のお客様に公開して、6月10日には終わる。最終的には2002年の6月が本番なので、それまでは毎日が実証実験として、より良いものを仕上げて本番までに完全なものを作る方が良い

と思う。

- ・その辺は確かに重要な部分だと思う。(事務局 佐藤)
- ・5月20日がステージングであり、また予算的制限もあるため、どこまでできるかということがあるが、とりあえず事務局である程度まとめて、2月ぐらいにメールで確認することが良いと思う。自作をするのかアウトソーシングをするのかについては、スケジュールとしては2月がリミットだと思う。また、コンテンツの中の優先順位を実証実験の中で決めていけば良いと思う。おそらく、5月の時点と来年の本番の時点で使うものはかなり変わると思うので、アップデートしないと使えないと思う。あくまでも実験なので、どこまでやるかを2月くらいまでに決めれば良いと思う。
- ・それではいただいた意見を踏まえて、また、ワールドカップサッカー対応部会や県と打ち合わせをしながら、暫くは当部会のメーリングリストで情報をその都度流しながら進めていきたいと思う。何か意見があればメールで事務局まで送って欲しい。部会の進捗情報や議事録等資料についてはホームページ上で全て見ることができるので、ITS 推進会議のホームページから地域交流部会をクリックしていただき、見て欲しい。次回は、県と打ち合わせを重ねて調整を終えてから、多分開催するとすれば3月過ぎになると思うがお知らせしたい。それまでは、メーリングリストで随時ご案内をしていきたい。(事務局 佐藤)

以上